令和5年6月29日
RX推進本部会議承認

RX推進計画 【共通RX】

個々のプロジェクトを随時実施・検証するアジャイルスタイル

Phase 0: 構成員から出された課題を小項目として整理し Phase 1に送る。(成果物:小項目)
Phase 1: 小項目の内容を検討し、想定される利用者、効果、コスト、課題等をまとめる。
検討が完了した小項目から随時Phase2に送り出す。(成果物:内容が検討された小項目)
Phase 2: 検討結果をもとに、リソース(予算、内製の場合担当者)を考慮して優先順位を決定し、上位のものから随時実行に移す。
成果物の形が見えたらその都度検証し、状況に応じてリリースor再検討を繰り返す。(成果物:システムやサービスなど)
上記をそれぞれ継続的に実施する。

大項目	令和４年度～令和6年度	令和7年度	令和7年度以降
定型業務・処理プロセスのデジタル化 (例:定型業務の電子化・自動化、様式の一元化及びデジタル化、情報検索の自動化(チャットボットの導入等))	定型業務のデジタル化と自動化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル)	総合検証 → 継続実施	継続実施
業務システムの変革 (例:会議等の効率化、電子決済、業務分担・権限や役割などの整理見直し)	業務システムの変革 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル)	総合検証 → 継続実施	継続実施
新しい広報の推進 (例:デジタル媒体の活用)	デジタル媒体による広報拡充 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル)	総合検証 → 継続実施	継続実施
構成員間コミュニケーションツールの活用・活性化	Teamsを活用したコミュニケーションの活性化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル)	総合検証 → 継続実施	継続実施

※上記4つの計画は、各RX(業務・運営RX、教育RX,研究RX、医療RX、地域貢献・国際交流RX)で実施されるものです。

RX推進計画 【業務・運営RX】

(期間:令和４年度／令和5年度／令和6年度／令和7年度／令和7年度以降)

人事制度改革
- ・[B1]実態に即した効率的な人事制度
  - 柔軟な働き方を目指すための現行制度見直し又は新制度導入
  - 順次見直し又は新規導入した制度の検証
- ・[B2]職員情報管理のDX
  - 人事給与システムの更新 23B2-1
  - 勤怠管理の効率化(システムの導入を含む。) 23B2-2 23B2-6
  - 職員に関する手続及び情報管理の効率化 23B2-3 23B2-4 23B2-5 23B2-7 23B2-8
  - 職員証・学生証のデジタル化
  - デジタル職員証を活用した出退勤管理の検討
  - デジタル職員証の活用を順次検討・推進

産業保健
(例:産業医面談予約、チャットボット活用、改善事例共有)
- [B3]職場の安全衛生に関する業務の効率化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

情報・DX人材の育成
・DX教育推進
(例:教職員SD、実践セミナー、プロジェクトチーム育成セミナー、学生向けDX教育コンテンツ)
・DXマネージメント人材育成
- [B4]DX教育推進 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
- [B5]情報・DXマネージメント人材育成
  - 情報技術活用人材の育成 23B5-2
  - DXマネージメントセミナー企画・実施 23B5-1
  - 検証

情報基盤整備
- ・[B6]情報量の増加や通信速度に対応できる基盤整備
  - 情報化推進計画の策定・見直し
  - 学内ネット環境整備(通信回線高速化)、VPN接続数増強
  - 千厩キャンパス 新キャンパス情報NWシステム準備 → 千厩キャンパス 新キャンパス情報NWシステム 運用開始(SCINET6への100G接続、高速Wifi、IP告知システム、構内テレビシステム)
  - 医学部新キャンパス ネットワーク準備(キャンパス間10G、キャンパス内) → 運用開始
  - 次期情報システム仕様策定(統合IDシステム、多要素認証導入などセキュリティ強化、デジタル学生証・職員証連携) → 運用開始
  - 一部、早期切り出し運用検討(統合ID管理システム、デジタル学生証・職員証連携)

情報セキュリティ対策
・情報リテラシーの向上
・必須メニューの構築・提供
・持続的な教育環境確立
・データ保存方法のルール化
・システム構築のセキュリティー基準の明確化
- [B7]情報セキュリティの教育 → 継続実施
  - 情報リテラシー向上のための教育・監査 → 検証
  - 持続的な教育環境確立
- [B8]ルール化・基準の明確化 → 継続実施
  - クラウド利用・データ保存のルール化 → 新ルール運用
  - システムのセキュリティー基準の明確化 → 新情報システムへ反映

情報システムの標準化
・情報システムの共通化
- [B9]情報システムの標準化
  - 各システムの関係性の整理(システム乱立の防止)
  - 暫定的な効率化・運用 23B9-2
  - 検証
  - 新情報システム(統合ID)による運用 23B9-1

定型業務・処理プロセスのデジタル化
(例:定型業務の電子化・自動化、様式の一元化及びデジタル化、情報検索の自動化(チャットボットの導入等))
- [B10]定型業務のデジタル化と自動化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23B10-1 23B10-2 23B10-3 23B10-4 23B10-5 23B10-6 23B10-7 23B10-8 23B10-9 23B10-10 23B10-11 23B10-12 23B10-13 23B10-14 23B10-15 23B10-16 23B10-17 23B10-18 23B10-19 23B10-20 23B10-21 23B10-22 23B10-23

業務システムの変革
(例:会議等の効率化、電子決済、業務分担・権限や役割などの整理見直し)
- [B11]業務システムの変革 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23B11-1 23B11-2 23B11-3 23B11-4

新しい広報の推進
(例:デジタル媒体の活用)
- [B12]デジタル媒体による広報拡充 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23B12-1 23B12-2

構成員間コミュニケーションツールの活用・活性化
- [B13]Teamsを活用したコミュニケーションの活性化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23B13-1

RX推進計画 【教育・学生支援RX】

デジタル技術活用による学修支援
(例:学修振返り管理、学習成果の可視化、デジタル活用教育メニューの整備、プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーDX部門を設置し評価・表彰、動画サイズの圧縮技術や配信方法等の技術開発)
- [E1]デジタル技術活用による学修支援 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23E1-1 23E1-2 23E1-3 23E1-4 23E1-5 23E1-6 23E1-7 23E1-8 23E1-9 23E1-10

学修環境整備
・学修環境整備の管理システムの構築
・オンライン、オンデマンド、ハイブリッド型教育プログラムの開発
(例:VR・ARを活用した対面とオンラインを融合させたアクティブラーニング・エリアの構築、シラバス掲載資料のオンライン書店への動線設定、電子教科書の導入、紙資料の電子化、禁帯出資料の電子化等による学生等の利用者の利便性向上、SNS、AIチャットボット、VR等を活用した学修サポート)
- [E2]学修環境整備の管理システムの構築
  - 管理システムの設計・構築 23E2-1
  - 各部局の学修環境情報の入力
  - 検証
  - デジタル学生証の活用を順次検討・推進
- [E3]オンライン、オンデマンド、ハイブリッド型教育プログラムの開発 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

教育面での新たな社会貢献
(例:ハイブリッド型リカレント教育の推進、スタディケーションの展開(観光その他産業とのコラボ)、離島への学習環境の提供)
- [E4]新しいリカレント教育の開発 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル)[S5]と連携 → 総合検証

学生生活支援整備
(例:健診予約システムの利便性の向上、相談予約システムの利便性の向上(健康相談予約システム)、健診事後処置の可視化(健診事後措置)、問診スムーズ化(健診問診)、禁煙サポートの推進(禁煙サポート)、感染症対策業務の効率化)
- [E5]学生生活支援管理環境の改善 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

定型業務・処理プロセスのデジタル化
(例:定型業務の電子化・自動化、様式の一元化及びデジタル化、情報検索の自動化(チャットボットの導入等))
- [E6]定型業務のデジタル化と自動化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23E6-1 23E6-2 23E6-3 23E6-4 23E6-5 23E6-6 23E6-7 23E6-8

業務システムの変革
(例:会議等の効率化、電子決済、業務分担・権限や役割などの整理見直し)
- [E7]業務システムの変革 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

新しい広報の推進
(例:デジタル媒体の活用)
- [E8]デジタル媒体による広報拡充 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23E8-1

構成員間コミュニケーションツールの活用・活性化
- [E9]Teamsを活用したコミュニケーションの活性化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23E9-1

RX推進計画 【研究RX】

研究関連情報の管理
- [R1]実験ノートを含む研究データの電子ファイル保存、管理、活用、分析
  - GAKUNIN RDMの活用などデータ保存及びその入力・公開方法の検討・規程整備 → データ管理の実施・活用
  - 研究データ入力支援体制の検討・確立
  - 研究者DBの充実(Researchmapとの連携強化)・研究者ポータルページ(仮)の作成
  - 23R1-1 23R1-2 23R1-3
  - 研究成果・研究データのリポジトリによる公開
  - 教員や学生の論文・著書の参考論文データ分析

研究機器の自動化・遠隔化
- [R2]研究のシステム化・自動化の体制整備
  - 研究関連システムの標準化・共通化の検討・ルール整備
  - システムの連携・集約
  - 研究機器類の自動化・遠隔化に向けた体制整備 → 機器の運用・追加
  - データ保存・解析への橋渡しの自動化

AIを用いた研究マッチング
- 研究や研究者データ分析による学内共同研究等のマッチング候補提示システムの開発
- [R3]外部機関との連携の深化を支える環境整備
  - 研究や研究者データ分析による学外共同研究等のマッチング候補提示

定型業務・処理プロセスのデジタル化
(例:定型業務の電子化・自動化、様式の一元化及びデジタル化、情報検索の自動化(チャットボットの導入等))
- [R3]定型業務のデジタル化と自動化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

業務システムの変革
(例:会議等の効率化、電子決済、業務分担・権限や役割などの整理見直し)
- [R4]業務システムの変革 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23R4-1 23R4-2 23R4-3 23R4-4

新しい広報の推進
(例:デジタル媒体の活用)
- [R5]デジタル媒体による広報拡充 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

構成員間コミュニケーションツールの活用・活性化
- [R6]Teamsを活用したコミュニケーションの活性化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

RX推進計画 【医療RX】

病院組織の合理的な再編
・メディカルインフォーメーション関連部門(企画情報運営)の再編
・医師事務支援センターの設立を検討する
・西普天間キャンパスおよび新病院ネットワークの共同管理体の設立検討
・国際診療センターの設立を準備する
- [M1]メディカルインフォーメーション関連部門(企画情報運営)の再編 → 継続実施
  - 23M1-1 病院全体像を把握するため、企画・分析・運用等の関連業務を洗い出し、人材を統合する計画を策定する
  - 人事関連の検討と調整を行い、実現可能かを評価する
  - 検証
- 23M2-1 [M2]医師事務支援センターの設立を検討
- [M3]西普天間キャンパスおよび新病院ネットワークの共同管理体の設立検討
  - 23M3-1 サーバラック、統合UPS、ネットワーク機器、スマホの共同調達を行う
  - 管理業務を仕分けする
  - 検証
- [M4]国際診療センターの設立を準備する
  - 医療通訳の職員の育成、かつ資格の取得を推進する。専任教員の採用を検討する
  - 23M4-1 インバウンド医療の対応
  - 検証

ICTおよび医療データの業務管理や研究への利活用推進
・院内研修(安全管理・感染対策等)の実施方法を紙媒体からForms等に変更するなど、研修業務のDX化を図る
・医療機器・システムの管理を一元化(DX活用による見える化)し、共同利用を促進する
・医療機器・システムの更新の有無や保守のグレードの判断に資するため、DX活用により正確な利用時間等を把握する
・現稼働病院情報システムのサーバおよび1500端末のリユース(2025年1月)を計画する
- [M5]院内研修の実施方法のDX化(Forms等) 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 継続実施
- [M6]医療機器・システムの管理を一元化(DX活用による見える化)し、共同利用を促進 → 総合検証
  - 23M6-1 23M6-2 23M6-3 23M6-4 23M6-5 23M6-6 23M6-7 23M6-8 23M6-9 23M6-10
- [M7]医療機器・システムのDX活用による資産管理と現稼働病院情報システムのリユース 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

患者サービスの質の向上
(例:QCサークル等をICTとデータ分析を支援し、外国人患者の医療通訳ツールの利用状況や診療情報の分析によって患者サービスの質を向上する。)
- [M8]診療情報のデータ分析によって患者サービスの質を向上 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23M8-1

職員のリスキリングの推進
(例:技術職員以外の職員にICT技術やデータ分析のOJTを行い、ICT導入運用やデータ分析のスキルを身につくように推進する。)
- [M9]医療DX人材の育成および、リスキリングの推進 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23M9-1 23M9-2

新キャンパス・新病院の基本構想の具現化
・人災・天災を含む災害対策・訓練と米国沖縄海軍病院との連携にICT導入を検討する。
・新キャンパスと新病院の電子カルテ内外ネットワーク機器を共同利用する形で調達する
- [M10]新キャンパス・新病院の基本構想の具現化
  - 23M10-1 新キャンパスと新病院の電子カルテ内外ネットワーク機器を共同利用する形で調達する
  - 23M10-2 人災・天災を含む災害対策・訓練と米国沖縄海軍病院との連携にICT導入を検討
  - 23M10-3 ランサムウェア等サイバーセキュリティーの対応を講じる病院情報システムの導入
  - 検証

定型業務・処理プロセスのデジタル化
(例:定型業務の電子化・自動化、様式の一元化及びデジタル化、情報検索の自動化(チャットボットの導入等))
- [M11]定型業務のデジタル化と自動化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23M11-1 23M11-2 23M11-3 23M11-4 23M11-5

業務システムの変革
(例:会議等の効率化、電子決済、業務分担・権限や役割などの整理見直し)
- [M12]業務システムの変革 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23M12-1 23M12-2

新しい広報の推進
(例:デジタル媒体の活用)
- [M13]デジタル媒体による広報拡充 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

構成員間コミュニケーションツールの活用・活性化
- [M14]Teamsを活用したコミュニケーションの活性化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

RX推進計画 【地域貢献・国際交流RX】

国際交流データの管理
・渡航管理システムの構築
・協定校との交流実績
・国際交流データの公表
- [S1]交流状況やニーズの管理システム構築 → 継続実施
  - 管理システム設計・構築
  - 各部局交流、ニーズ、協定校交流情報の入力 23S1-1
  - 検証
- [S2]国際交流情報の発信 → 継続実施
  - HP整備と管理システムとの連携
  - 管理システムと連動した情報発信
  - 検証

地域貢献データの管理
・学内情報収集の自動化
・学外活動実績や連携可能メニューの可視化
・活動動画公開とデジタルアーカイブ構築
- [S3]地域貢献情報の管理システム構築 → 継続実施
  - 管理システム設計・構築 23S3-1
  - 各部局活動情報の入力
  - 検証
- [S4]地域貢献活動情報の発信 → 継続実施
  - HP整備と管理システムとの連携
  - 管理システムと連動した情報発信
  - 検証

教育や研究を通した新しい地域貢献
(例:オンライン、オンデマンド、ハイブリッド型教育プログラムの開発提供、ハイフレックス型報告会、各種オンラインツールの活用、デジタルアーカイブ、ICT活用の大学ツアー)
- [S5]オンライン、オンデマンド、ハイブリッド型教育プログラムの開発提供 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル)[E5]と連携 → 総合検証 → 継続実施
  - 23S5-1 23S5-2 23S5-3

定型業務・処理プロセスのデジタル化
(例:定型業務の電子化・自動化、様式の一元化及びデジタル化、情報検索の自動化(チャットボットの導入等))
- [S6]定型業務のデジタル化と自動化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施
  - 23S6-1

業務システムの変革
(例:会議等の効率化、電子決済、業務分担・権限や役割などの整理見直し)
- [S7]業務システムの変革 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

新しい広報の推進
(例:デジタル媒体の活用)
- [S8]デジタル媒体による広報拡充 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施

構成員間コミュニケーションツールの活用・活性化
- [S9]Teamsを活用したコミュニケーションの活性化 個々のプロジェクトを随時実施・検証(アジャイル) → 総合検証 → 継続実施